

市内ほぼ全域に警戒レベル4

7月6日、梅雨前線が停滞し、線状降水帯が発生。福岡県に大雨洪水警報・土砂災害警戒情報が発令されました。筑後川をはじめ中小河川の水位もみるみる上昇。氾濫の危険が高まり、避難所を開設しました。市内では道路が冠水するなど市民生活に大きな影響が出ました。

☎0942309074、FAX0942309712
☎防災対策課



城島町一帯が浸水しました。住宅と道路や田畑の境が分からなくなっています。7月8日、四国地方整備局のポンプ車の協力で、排水を行いました。

難勧告を出しました。河川の水位は瞬く間に上昇。短時間で警戒レベルも3から4へ上がりました。最終的に市内ほぼ全域が警戒レベル4に。コミュニティセンターや小学校など44校区に避難所も開設。12万9952世帯、28万9277人を対象に避難勧告・指示が発令されました。

市内の被害状況

大雨により、公共交通機関は大きく乱れ、市立の学校は臨時休校となりました。城島町一帯が浸水するなど、多くの家屋が浸水被害に遭いました。道路の冠水や損壊の被害も発生。北野町の陣屋川などでは、河川からあふれ出た流水を、国や県の排水ポンプ車により、筑後川へ強制排水しました。

LINEで災害情報発信

久留米市公式LINEで河川の水門を閉める場合や避難所の開設、現場写真、各種支援策などの災害情報を随時発信しています。

避難所は、マスク着用や検温などコロナ対策を行いました。3密にならないように、避難者が多い場合は速やかに別の避難所を開設。保健師が巡回し、体調チェックを行いました。

大雨に伴う損壊や浸水被害などの相談窓口を開設	
中小事業者	農業者
【期間】 7月9日からの平日 【時間】 8時30分～17時15分 【相談窓口】 本庁舎11階商工政策課、各総合支所産業振興課 ☎商工政策課(☎0942・30・9133、FAX0942・30・9707)	【期間】 7月9日からの平日 【時間】 8時30分～17時15分 【相談窓口】 本庁舎15階生産流通課、各総合支所産業振興課 ☎生産流通課(☎0942・30・9164、FAX0942・30・9717)



太郎原町ではハウスも浸水



市消防団第16分団がボートで住民を救助

久留米市子どもの貧困対策推進計画

地域全体で見守り育てる社会に

社会全体の課題として

久留米市は「子どもの貧困対策推進計画」を策定しました。子どもたちが生まれ育った環境によって、現在および将来が左右されることなく、夢と希望を育てる社会の実現を目指す取り組みを示すものです。市が実施した調査結果では、5人に1人以上の子どもの貧困に関する課題を抱えています。経済的な理由で食費を切り詰めたり、子どもを習い事に通わせられなかったりする家庭の状況は、外からは見えづらいのが特徴。同時に社会からも孤立する傾向にあります。貧困は当事者だけの問題ではなく、社会全体の課題として考える必要があります。子どもの権利を第一に、市や学校、地域などさまざまな立場の人が連携・協力し取り組んでいきます。計画期間は今年度から令和6年度までの5年間です。

地域との関わりが不可欠

市は平成29年度に「久留米市子どもの生活実態調査」を行いました。見えてきたのは、経済的な理由で、子どもが極めて不利な状況に置かれていることや、支援やサービスにつなぐりにくいという実態でした。子どもはさまざまな関わりの中で育ちます。親や学校の先生だけでなく地域の大人との関わりが自立する力につながります。周りに関わることで解決できる課題もあります。子どもの成長には地域とつながりを持ち続ける環境づくりが必要です。

重点取り組みを推進

生活実態調査などから見えてきた傾向から、次の4点を重点的に取り組んでいきます。

■生活環境を改善

子ども食堂の活動促進やひとり親家庭の就労支援などを進めます。子どもや家庭の課題の解決に向け、スクールソーシャルワーカーの活用を充実します。

■意欲や自己肯定感を高める

スポーツなど体験活動への参加、学習支援の場の提供を行います。学校以外でも、さまざまな体験をすることによって、子どもが自ら学び考え、生き抜く



本庁舎2階のジョブプラザ内にある「久留米ひとり親サポートセンター」

子どもの貧困対策に関する指標

指標に対する目標	直近値
子どものいる生活困難世帯の割合を下げる	22.1%
毎日朝食を食べる子どもの割合を上げる	全体 92.6% 生活困難世帯 88.4%
ひとり親家庭の親の正規の職員・従業員の割合を上げる	母子 49.7% 父子 74.7%
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合を上げる	小学6年生 77.4% 中学3年生 67.8%
生活保護世帯の子どもの高校や大学などの進学率を上げる	高校など 95.2% 大学など 30.9%
困りごとの相談者がいない・しなかった割合を下げる	18.2%
近所の人と付き合いがない子どもの割合を下げる	12.1%
スクールソーシャルワーカーの支援件数を上げる	163件
生活自立支援センターの相談支援件数を維持する	1,020件

力を養う場を作ります。**子ども・子育て世帯の孤立を防ぐ**

市子ども子育てサポートセンターと地域、NPOなどが連携し、相談支援など切れ目のない支援を行います。子どもや子育て世帯が、安心して地域でつながる居場所づくりを進めます。

■未来を支え合う体制の構築

子どもに関わる団体・機関、学校や地域で取り組む体制を作

ります。子どもの貧困に対する地域全体の理解を深め、子どもを見守り育てていく社会を目指します。
☎子ども政策課(☎0942・30・9227、FAX0942・30・9718)

市ホームページ「久留米市子どもの貧困対策推進計画」へ詳しくはQRコード



コロナ禍でも、弁当を作る活動を続けている宮ノ陣子ども食堂